

2021年7月14日(水)  
甲南大学経済学会

## 【経済学会 学生懸賞論文 執筆マニュアル】

### I 論文の要件

- (1) 原則、ワープロ書きに限る。
- (2) A4用紙、横書き(縦置き)、40字×36行/頁。
- (3) 分量は12頁以上20頁以下(題目・目次・図表・アンケート票等の付録類を含む)。
- (4) 日本語はMS明朝(全角)、英数字はTimes New Roman(半角)、共に10.5ポイントのフォントを用いること。
- (5) 論文は未発表作で、一人一作とする(共著の場合も含む)。

### II 表紙

- (1) 表紙には以下(a)(b)を記載することは
  - (a) 題目
  - (b) 目次(章のみ)
- (2) 審査は匿名で行うので、氏名・ゼミ名・学年は、表紙及び本文には記載せず、別紙に記入して添付すること。

### III 章・節などのナンバリング

ナンバリングは以下に従うこと。

- (a) ローマ数字 [I、II、III、……]
  - (b) 算用数字 [(1)、(2)、(3)、……]
  - (c) ローマ字 [(a)、(b)、(c)、……]
- (例) I 変動相場制下の経営収支均衡と国際資本移動  
(1) 1970年代の経常収支不均衡と国際資本移動  
(a) 1970年代の経常収支不均衡

### IV 脚注ならびに引用

- (1) 脚注の付け方
  - (a) 文章の右上に数字を振り、論文の最後に全てまとめて「文末脚注」とする。  
(例) 問題は、市外社会から市内社会に支払われるアクセスチャージによって解消している<sup>1)</sup>。
  - (b) 脚注の数字の付け方は、算用数字1、2、3……に統一し、(注1)、(注2)、(注3)……等としない。
- (2) 引用の仕方
  - (a) 文献から文章等を引用する場合には必ず「」を付け、著者名・文献名・出版社・出版年・

掲載頁数等を脚注等で必ず明記すること。文献を要約して引用する場合も同様とする。

- (b) 論文の末尾に参考文献表を付ける場合、脚注の注欄を簡単な略記で済ましてもよい。例えば、「平井（2017）、35 頁。」のようにできる。

(3) 引用した文献の記載の仕方

(a) 書籍の場合

著者名『書籍名』（出版社名、刊行年（西暦）、頁）

（例）平井健介『砂糖の帝国：日本植民地とアジア市場』（東京大学出版会、2017 年、35 頁）

(b) 雑誌に掲載された論文の場合

著者名「論文名」（『雑誌名』、巻・号、発行年、頁）

（例）寺尾建「経済学と経済学者の「自然発生的哲学」」（『甲南経済学論集』、第 61 巻第 3・4 号、2021 年、47 頁）

(c) 書籍に収録された論文の場合

著者名「論文名」（書籍の編者名『書籍名』、出版社名、刊行年（西暦）、頁）

（例）上島康弘「第 3 章 格差社会を生むもの」（広田照幸・川西琢也編『こんなに役立つ数学入門：高校数学で解く社会問題』、筑摩書房、2007 年、82 頁）

(d) Web ページの場合

著者名「タイトル」（ウェブサイト名、URL、閲覧年月日（西暦））

（例）森剛志「「億万長者の民主化」で誰でも夢を見られる時代が来る」（PRESIDENT ONLINE、<https://president.jp/articles/-/15870>、2021 年 6 月 8 日）

## V 参考文献

- (1) 論文作成のために使用した文献は「参考文献」とする。「参考文献」は、論文・文末脚注の後にまとめる。

(2) 記載の仕方

(a) 書籍の場合

日本語文献：著者名『書籍名』（出版社名、刊行年（西暦））

（例）平井健介『砂糖の帝国：日本植民地とアジア市場』（東京大学出版会、2017 年）

欧文文献：著者名 書籍名，刊行地名：出版社名，刊行年。

（例）Hicks, J.R. *Value and Capital: An Inquiry into Some Fundamental Principles of Economic Theory, 2nd Edition*, Oxford: Clarendon Press, 1946.

(b) 雑誌に掲載された論文・記事の場合

日本語文献：著者名「論文・記事名」（『雑誌名』、巻・号、刊行年（西暦）、掲載頁）

（例）寺尾 建「経済学と経済学者の「自然発生的哲学」」（『甲南経済学論集』、第 61 巻第 3・4 号、2021 年、33-53 頁）

岩井克人「持続可能な資本主義は実現できる」（『週刊東洋経済』、4 月 10 日号、2021 年、40-42 頁）

欧文文献：著者名．“論文名，” 雑誌名 巻・号（刊行年）：掲載頁．

（例）Nash, J.F. “The bargaining problem,” *Econometrica* 18 (1950): 155-162.

(c) 書籍に収録された論文の場合

日本語文献：著者名「論文名」（書籍の編者名『書籍名』、出版社名、刊行年（西暦）、掲載頁）

（例）上島康弘「第3章 格差社会を生むもの」（広田照幸・川西琢也編『こんなに役立つ数学入門：高校数学で解く社会問題』、筑摩書房、2007年、81-112）

欧文文献：著者名．“論文名，” 書籍の編者名 書籍名，出版社名，（刊行年）：掲載頁．

（例）Shapley, L.S. “A value for  $n$ -person games,” in Kuhn and Tucker (eds.) *Contributions to the Theory of Games*, vol. II, Princeton UP, (1953): 305-317.

(d) Web ページの場合

著者名「タイトル」（ウェブサイト名、URL、閲覧年月日（西暦））

（例）森剛志「「億万長者の民主化」で誰でも夢を見られる時代が来る」（PRESIDENT ONLINE、<https://president.jp/articles/-/15870>、2021年6月8日）

## VI 図・表の記載

- (1) 出典を必ず明記すること。
- (2) 必ず通し番号を付けること（表1、表2、図1、図2等）。

## VIII 提出方法

原稿は3部印刷し、経済学会コモンルームに提出すること。同時に原稿の電子ファイル（できればWordファイルとPDFファイル）を添付したメールを経済学会コモンルーム（[gakkai@konan-u.ac.jp](mailto:gakkai@konan-u.ac.jp)）宛に送信すること。

\*疑問点等がある場合には、経済学会コモンルーム（[gakkai@konan-u.ac.jp](mailto:gakkai@konan-u.ac.jp);078-431-4341〔内線3034〕）迄お問い合わせ下さい。